

成人の重国籍容認

国籍というのは国民にとって最も重要なものの一つ。現政権はこの国籍を成人になった外国人にプレゼントするという法案を押し進めています。

その名の通り、外国籍のままで日本国籍を取得することができ、日本人のすべての権利が持てるというものです。

当然ですが、日本籍さえ取得してしまえば参政権も手に入ります。外国人参政権や外国人住民基本法なんて遠回りをしなくていいのです。

そして、何より私たち日本人には何のメリットもないのです。日本内部からいろいろなことができ、国益を損なうのは誰でもわかることです。

一部では「外国人参政権は目眩ましで、本当はこの法案がメインなのは？」とも言われる危険な法案なのです。

そして、テレビではこの「成人の重国籍容認」の情報を封殺しています。どのような裏があるかは不明ですが、日本国内に日本を破壊しようとしている人がいる証拠です。

外国人住民基本法

日本人の権利を外国人に簡単に渡してしまう法案。日本人は何の得もしないのに現政権が押し進める法案。現政権はどの国の政権なのか？

名称からはピンと来ない法案ですが、内容は日本人の固有の権利を5年以上日本に住んでいれば与えるという悪法です。

また、この法案の問題点は「5年間日本に住んでいる方法は問われない」ことです（永住外国人の配偶者は3年間日本に住めば可能）。二重国籍でも犯罪者でも問題はないというのです。一体、日本人の誰が得をするのでしょうか？

この法案は日本国憲法を無視した「外国人優遇法案」なのです。

この法案は外国人参政権を包括しており、この法案が通ると日本という国の在り方が全て崩れます。

「外国人の差別をなくすため」という大義名分のようなのですが、『差別をなくす=全ての権利を与える』という政府の安直な発想は異常です。

今国会でも提出されており、国民は声を上げて反対しなければならない危険な法案です。

今回の国会に請願されている

危険な法案 日本の存在を脅かす

テレビでは報じない日本の未来を亡くす法案を紹介しています。日本国民はこのことを知り、そして阻止しなければなりません。